

28 放課後等デイサービス事業所の支援・活動に関するヒアリング調査の経過報告

秩父学園 地域支援課 佐山智洋 永吉敏広

【はじめに】放課後等デイサービス（以下、放デイ）は平成 24 年 4 月の児童福祉法改正により創設された障害児通所支援事業である。創設後、事業所数は急増しており、提供される支援の質にも大きな開きがあるとの指摘がなされ、平成 27 年に「放課後等デイサービスガイドライン」が策定された。ガイドラインでは、「提供形態の多様性から、その在り方について具体性をもって示すことは困難」とし基本的事項を示している。このように放デイにおいては、事業所数の急増、支援の質、形態の多様性が課題となっている。支援の質の向上のためには、事業所が参考とできるモデルを提示していくことが有益であると考え。そこで、放デイ事業所での支援や活動についての好事例を収集し、放デイ事業所の質の向上のための資料とすることを目的としてヒアリング調査を開始した。本報告会では、その経過を報告する。

【方法】対象事業所は先行文献を参考に先駆的に放課後の障害児支援を行っている事業所を選定した。調査方法はヒアリング調査とし事業所を訪問し活動の視察および管理者等へのヒアリングを行った。

【結果】表 1 にヒアリングの結果の一部を示した。

表 1 ヒアリングの結果の一部

	A 事業所	B 事業所	C 事業所
理念	子どもらしくのびのびと放課後の時間を過ごし、遊ぶことを通して人格的な力を育む。	集団活動を重視し、集団の中で主張したり、協力したりする力を育む。	のびのびと過ごしつつ、集団活動を通して役割を担うことや人との関わりを育む。
職員(配置)	2 : 1 以上	2 : 1 程度	2 : 1 程度
児童(定員)	20 名	10 名	20 名
活動	自由遊びが中心。活動例は、風船バレー、かるた、相撲、ボウリング、工作、描画、折り紙、散歩、おやつ作りなど。	集団活動を設定。自由時間あり。活動例として製作、ゲーム、おやつ作り、調理、運動、音楽療法など。夏休みには遠足、畑活動など。	自由遊びと集団活動を設定。自由遊びでは散歩、ブランコ、マット遊びなど。集団活動として、「班活動」を実施し、おやつ、日記、掃除などに取り組む。
特徴	個々の遊びを保障するため職員配置は手厚く訪問時は 18:13 だった。遊びの時間を重視し一斉活動は少なくしている。	「集団のエネルギー」を大切に、毎回集団での設定活動を行っている。活動の企画するために活動の「レシピ」を作成。	集団を重視し「班活動」を行っている。班活動では班長などの役割を児童が担っている。

ヒアリングで得られた情報をカテゴリー化し整理した。カテゴリーとして「活動」「理念」「施設」「職員」「児童」など分類され、「活動」カテゴリーでは下位カテゴリーとして「活動例」が生成され、さらに室内あそび・外遊び・自由遊び・集まり・おやつ・外出・買い物・行事・散歩・製作・掃除などに分類された。また「理念」により「活動」の内容や形態が異なっている傾向が見られた。

【考察】放デイ事業所で行われている活動は理念によって内容や形態が異なっており理念が活動に与える影響は大きい。事業所が理念を明確にすることが活動の充実、支援の質の向上のために重要と考える。対象事業所では様々な活動を行っており多くの活動例を収集することができた。さらに分類ごとに整理し、具体的な実施方法とともに提示していくことが望ましいと考える。また本調査を通して活動以外にも、支援、施設、課題等についての多くの情報が得られたため、体系的に放デイの実態を捉えることが今後の課題である。